

記者会見での知事発言要旨（3月26日）

埼玉県として、県民の皆さまに申し上げます。この週末の不要不急の外出を自粛していただけますようお願いいたします。

県としてはこれまで、国や市町村とも協力して、新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぎ、流行のピークを遅らせるために必要な措置を、常に先手を打つ形で進めてまいりました。

その一方で、経済や学校等の社会生活を停止させることの影響とのバランスも考え、どのような活動が可能なのか、あるいは抑制すべきなのかについては、専門家のご意見も踏まえて検討してまいりました。

他方、昨日、小池都知事からは会見を行う直前に電話でお話をし、東京の感染状況についての懸念も共有したところであります。別添のグラフでは、東京都の感染者がこのところ急激に上昇する傾向を示しています。埼玉県はまだ急激な拡大やクラスターが次々と生まれる状況、あるいは感染経路が不明な方が多く発生する状況にはありませんが、最初の感染者の発生日をゼロとすると、東京と同様の傾向を示しています。また、東京都と埼玉県の間では頻繁に人や物が往来しており、東京の状況と無関係とは考えません。

その一方で、スペインのケースを見ると、急激に発生する時期には数日という短い期間で数十倍にも患者が拡大しています。このような状況に至る前に対処することが肝要と考えています。

各地域からの報告ですが、先々週の週末から県内でも人出が増加していると聞いています。潜伏期間から見ると、若干人出が増えてきた時期と、東京都の感染者増加が重なってきていることも懸念されます。

このため、専門家の方々にも相談をさせていただき、爆発的な感染に入る前に不要不急の外出を自粛していただくことが、少しでも感染のピークを遅らせるために必要と決断いたしました。県民の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、まずはこの週末の外出自粛という措置を行い、その後の状況を冷静に見極めたいと考えます。

なお、生活必需品の買い物、散歩やストレスのたまるお子様の公園での遊びなどは、自粛の対象ではありません。しかしこの場合でも、帰宅した際の手洗いや咳エチケットなどは必ず行ってください。

なお、昨日の専門家会合では、現在の埼玉県の感染状況を詳細にお示したうえで、学校の再開等について必要な措置についてご指摘をいただきましたところ、月末までの期間に首都圏の感染状況も見据えつつ、4月以降の学校や県内施設等の再開については粛々と準備を進めながらも、4月頭に判断を行いたいと考えております。

その一方で、現在の埼玉県の陽性者発生状況から考えても、大規模イベントの自粛要請は、専門家の皆様のご意見も踏まえ、継続する必要があると判断しており、4月19日までの自粛について引き続き要請いたします。

また、事業者の皆様におかれましては、買い占め等による混乱も懸念されることから、食料品・日用品等の販売についてより多くの消費者の方に商品が行きわたるよう販売方法等に工夫を凝らしていただくとともに、引き続き在宅勤務や時差通勤などの感染症対策に万全を期していただくよう対応をお願いいたします。

改めて、県民の皆様には大変なご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願い申し上げます。